編集・発行…鳥取県議会　県議会広報紙…年4回発行　令和元年9月1日発行

とっとり県議会だより

令和元年6月定例会

No.029
Jun.
6月議会

主な記事 Contents

代表質問 …… 2p
一般質問 …… 3~8p
常任委員会活動 …… 9p
議決結果 …… 10~11p
中国五県議会
　正副議長会議 …… 12p
お知らせ …… 12p

レーザー級世界選手権大会スタンダードクラス（撮影：平井淳一）

6月定例会の概要

６月定例会は６月７日、平井知事から総額312億７千万円余の令和元年度鳥取県一般会計補正予算(第１号)や鳥取県農作物種子条例など12議案が提案されて開会した。

２月定例会で可決した当初予算は知事選を控えた骨格予算であったため、今定例会は肉付け予算として政策的事業に関する予算が提案された。

本会議では、代表質問は県議会自由民主党が、一般質問には過去最多となる31名の議員が登壇し、県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開した。

会期中、知事から、鳥取県監査委員などの人事案件５議案が追加提案された。

審議の結果、17件の知事提出議案全てを原案どおり可決、同意した。

議員提出議案については、「鳥取県議会委員会条例の一部を改正する条例」「地方財政の充実・強化を求める意見書」「「協同労働の協同組合」に関する法律の速やかな制定を求める意見書」の３議案を提案し、原案どおり可決した。

陳情については、「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書の提出についてを全会一致で採択としたほか、６件を趣旨採択、５件を不採択と決し、６月28日に22日間の会期を閉じた。

表紙の写真

境港市で開催されたセーリング競技レーザー級(一人乗りヨット)の世界一を決めるレーザー級世界選手権大会の写真を掲載しています。
ヨッティング・フォトジャーナリストとして活躍している平井淳一さんが撮影された大会の様子です。

代表質問

自由民主党

選挙区 米子市
斉木 正一 議員

県政運営の基本姿勢

問 令和新時代の創造に向けた今後の県政運営の基本方針は。

答 鳥取県は民主主義の適正規模であると思う。大都市ではできない施策を住民本位で実行することができる。価値観を転換し、暮らしに基軸を置きながら本当の幸せを求める好適地として、令和の時代を切り開いていく。

県財政の現状と課題

問 本県が抱える財政課題と対応策をどのように認識しているか。

答 地方消費税の伸び以上に地方交付税が減らされる逆転現象が起きている。大都市も地方もそれぞれ財源を伸ばして財政基盤を確立することが喫緊の課題である。

大規模自然災害からの教訓

問 防災・減災活動の実効性を上げるための総合的な取り組みを深化させるべきではないか。

答 深刻な被害の教訓をもとに、ダム放流のあり方など、根本から組み替えるべきところは組み替えようとしている。議員の戒めの言葉を旨とし、向上に努めていく。

県民の命を守る安全対策

問 幼児や児童・生徒が犠牲となる交通事故を防ぐため、危険箇所の洗い出しや具体の点検などの対策を講じるべきではないか。

答 ガードレールや信号機の設置など、緊急性の高いものを選別しながら優先順位をつけ、早ければ9月県議会に対策を提案する。

（警察本部長）関係機関等との連携の下、交通環境の整備や道路における危険防止を推進するとともに、AIの活用も検討するなどして、あらゆる角度から交通事故の防止対策を強化する。

問 川崎市で発生した殺傷事件を受け、登下校時における子どもの完全確保対策についての認識は。

答（教育長）子ども達が安心して学べる環境をつくるため、県民の理解と協力を得つつ、多様な担い手によって社会全体で取り組むべく、関係機関と連携していく。

高速道路網の整備促進

問 「米子～境港」間の幹線道路建設に向けての取り組み状況は。

答 改めて米子市との協議を始め、道路の必要性について圏域の合意を形成し、具体的な要請活動に向かう道筋を開いていく。

二つの新幹線構想

問 新幹線構想をどのようにして前進させようと考えているのか。

答 山陰新幹線と中国横断新幹線の基本計画路線からの格上げを目指す運動を展開しながら、未来への道筋を開いていく。

子育て王国とっとりの充実

問 一歩先を行く子育て支援をどのように展開していくのか。

答 経済的負担、身体的・精神的負担、仕事と子育ての両立などをポイントとしながら、これからの子育て政策を再構成していく。

今後の県立高校のあり方

問 多様化する生徒のニーズや社会の変化に対応した魅力ある高等学校づくりに取り組むべき。

答（教育長）（財）地域・教育魅力化プラットフォームの協力を得ながら、地元自治体、企業、学校、教育委員会等が一体となり、中山間地域の高校における魅力の磨き上げや情報発信などを検討する。

農林水産業の活力増進

問 令和5年の農業生産九百億円達成に向けた今後の取り組みは。

答 畜産のウエイトが高く、新しい種雄牛を起爆剤として増頭を図る。担い手不足の解消も必要であり、付加価値の向上や経営の安定化などに総合的に取り組む。

参院選の合区解消に向けて

問 憲法改正も視野にいれた合区解消の取り組みを強化すべき。

答 合区が固定化されてしまいかねない風潮が出ている。改めて警鐘を鳴らし、全国知事会等を通じて、仲間の知事とともに働きかけを行っていく。

一般質問

6月定例会では、31人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会　検索

届け地域の声 ～まずは、安心安全～

山口　雅志 議員
選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

問 ①財政健全化と未来投資との調和②高速道路の安全対策と経済的有効活用③高齢者の運転対策④災害時の人的ネットワーク確立とハード面の整備⑤ファミリーサポートの存続問題。

答 ①未来投資を共通目標にやるべきはやる②国等への要望を継続。道の駅活用を民間と推進③（警察本部長）委託先と連携し円滑に推進④問題意識を持ち市町村へ呼びかける。ハード面では地元と丁寧に対話⑤市町村との意見交換を行い、一歩先の子育てのあり方を検討する。

県都の玄関・鳥取駅周辺の活性化

島谷　龍司 議員
選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

問 県都の玄関にふさわしい鳥取駅周辺の賑わいを創出するため、地元鳥取市との協調はもちろんだが、県が主体的、積極的に行動していく段階になっていると考えるが知事の所見を伺う。

答 本県自体が駅周辺一帯の地権者、関係者でもあり、広域的な交通の拠点として、また、広域的なにぎわいづくり、地域の活性化を進めていく上でもポイントとなるところだと思う。議員の意見に結論的に全く賛同するものであり、しっかりと鳥取市との協調を図りながら進めたい。

林業生産性向上と中山間農業の課題

西川　憲雄 議員
選挙区　八頭郡
会　派　自由民主党

問 ①持ち出し支援等により素材生産は順調に伸びたが、山頂部や林道から離れた所では、未だ間伐が行われていない。新たな仕組みを考える必要があるのではないか②中山間地の稲作・畑作に担い手不足等の問題を解決する策はないか。

答 ①40万、50万立米を目標に一度計画を見直す時期に来たのではないか。タワーヤーダ等の架線系を使うのは一つのアイデアではないかと思う②シイタケ等を使って集落営農なども対象にして、林産物での所得向上を目指す。

部活指導と教育現場の働き方改革

内田　隆嗣 議員
選挙区　米子市
会　派　自由民主党

問 国が進める働き方改革が、来年の4月から教育現場に本格的に適用され、月45時間以上の残業が認められなくなる。部活指導を月曜日から金曜日まで2時間ずつ行えば、月45時間を超えるという事態を考えると、土日の部活指導はできないというようなことが発生する。来年、そういう事態が発生しないように対応策を考えるべき。

答（教育長）解決しなければならない課題であり、しっかりと取り組んでまいりたい。

鳥取県の持続可能性について

川部　洋 議員
選挙区　倉吉市
会　派　自由民主党

問「誰一人取り残さない」ことを目指した国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）について、認識が不十分だと感じるが、知事の公約「令和新時代チャレンジ55」をSDGsと関連づけ、県としても取り組みを始めてはどうか？

答 本県もSDGs自治体の宣言に加わるなど端緒は開きつつある。環境基本計画の改定においてもSDGsと関連させるべく作業を始めており、今後はSDGsを県の総合的な計画にも取り込んでいきたいと思っている。

港湾計画、高速道路の今後について

安田　由毅 議員

選挙区　境港市
会　派　自由民主党

問 ①二巡目国体も踏まえたセーリングの聖地境港実現に向けて知事の所見を問う②高度衛生管理型魚市場を活かす観点からも、米子境港間の高速道路が必要ではないか。

答 ①航路埋設問題も含め、令和二年の港湾計画改定に盛り込んで議論していく②市場機能・競争力を高める上、また避難路としての機能からも考えていかなくてはならない。未来への礎として、方向性を打ち出していくことが私たちの４年間の責務ではないか。

①スマート農業 ②プラごみ　③教育

福浜　隆宏 議員

選挙区　鳥取市
会　派　無所属

問 ①「スマート農業実証事業」は収益性の低い中山間地で採算は？②「プラごみゼロ・チャレンジ」という県民運動を打ち出した要因は？③「ふるさとキャリア教育（※１）」は市町村が本気にならないと実施が困難では？

答 ①衛星写真分析やドローン活用など地域で共有し、コストパフォーマンスを研究する。②世界的な問題。大量消費社会の在り方、ライフスタイルを我々自身が考える必要がある。③（教育長）市町村とタッグを組み、進めるための場を持ちたい。

とっとりバイオフロンティア 染色体工学技術

澤　紀男 議員

選挙区　米子市
会　派　公明党

問 鳥取大学発の染色体工学技術は、研究を核とした新産業により経済効果と雇用が生まれ、さらには他の産業へと結び付く、今後相当に期待できる分野。残念なのは地元や市民にあまり知られていない。鳥取県西部のランドマークとして県民に定着するための取組について伺う。

答 遺伝子工学で栄えていくような米子、鳥取県を形成していきたい。とっとり創薬実証センターも軌道に乗ってきた。県の機関誌等も含め広報を強化していく。

県財政のあり方 外国人労働者等

藤井　一博 議員

選挙区　東伯郡
会　派　自由民主党

問 ①安全・安心施策等、県政の重点課題については、６月補正予算により思い切って実施すべき②企業版ふるさと納税制度（※２）の期間延長を③外国人労働者を本県に受け入れるための施策を求める。

答 ①防災関係、産業振興、人づくりなど前倒しして予算計上している②全国知事会を通じながら企業版ふるさと納税の継続に向けて運動を展開していく③適正な居住環境も含め、企業の支援などを通じて環境づくりに貢献していく。

人権政策の方向性

由田　隆 議員

選挙区　倉吉市
会　派　無所属

問 部落差別解消推進法の制定を受け、鳥取県の果たす役割とは？また、部落差別の解決に向け、部落差別撤廃条例の制定について知事の所見を伺う。

答 部落差別解消推進法の制定を受け、同和対策協議会のメンバーを拡充し、相談窓口を設置し、対応。隣保館などで調査を行った。今後も実態把握に努めていく。条例については、同和対策協議会とも議論しながら、他県等の地域の情報も入れて考えていきたい。

中山間地農業の活性化支援対策を

鹿島　功 議員

選挙区　西伯郡
会　派　自由民主党

問 ①中山間地農業の活性化に有効な手だてはあるか②高齢化で後継者がいない農家が多いが、経営維持できるような助成はできないか？

答 ①産地づくり、ブランドづくりで、生産額を上げ、評判を上げる循環を作ることが活性化になる。集落営農の集団化によって対処していくのも手である②今年度「がんばる地域プラン事業」を一部改正し、地域の担い手が万が一のときのお互いをサポートする協定を結び、農地の安定的、永続的な保全を図る。

※１ ふるさとキャリア教育：生まれ育った地域で地域貢献活動や地域行事への参画等を通して、地域を大切にする心を育てる教育
※２ 企業版ふるさと納税制度：企業が自治体に寄付をすると税負担が軽減される制度

不妊治療費助成制度について

語堂　正範 議員
選挙区　東伯郡
会　派　自由民主党

問 治療を行っている夫婦の声なき叫びが聞こえる。子どもたちが持続可能な地域を実現するその前段階として不妊治療ということに対して、支援を先駆的に、一歩踏み込んだ形で行っていただきたい。

答 やはり見直しすべきとき、現実にかかるお金は高いというようなことがある。当事者へのアンケート調査、クリニックの御協力も得ながら、実態を把握し、地に足が着いたような形で次の不妊治療対策を考えてみたいと思う。

淀江産廃、日米FTA、防波堤釣り

市谷　知子 議員
選挙区　鳥取市
会　派　無所属

問 ①淀江産廃は技術的な議論もなく意見調整会議終了すべきでない。知事は推進の立場ばかりでモノを言うのでなく直接住民の声を聞くべき②空中給油機倍加なぜ③日米FTA 情報開示と中止。9 割が小規模。牛舎支援や酪農ヘルパー基金継続④国安全対策に基づく防波堤釣り手続。

答 ①地下水も専門的知見を入れて審査し、安全に関わるなら体張って止める②太平洋側も防空③情報開示と毅然とした姿勢求めた。規模拡大ない牛舎支援可、基金は協議中④指針に沿い対応。

鳥取駅周辺の賑い生活交通の充実

中島　規夫 議員
選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

問 ①中山間地生活交通の窮状への対応②県警として鳥取駅周辺の賑い創出、駅北スクランブル交差点をどうするか。

答 ①交通体系の確保に向けた補助金の再編を含めた地域交通のあり方検討会を設置し、遅くとも新年度予算に提案したい②（警察本部長）鳥取駅周辺の賑い創出に賛同し、6月7日の県・市・県警・商工会議所トップ会議でも合意した。たとえ私が異動しても県警察、組織として判断し取り組んでいるので、人が変わっても判断に変更はない。

女性若者政治参画 県東部の美術振興

尾崎　薫 議員
選挙区　鳥取市
会　派　会派民主

問 ①女性・若者への政策決定の研修会、海外の視察など民間団体がする活動支援をしては②美術館機能がなくなる東部県民への美術振興策は？③東部美術振興について県も市と共に考える姿勢を。

答 ①“よりん彩”を活用できる。海外研修は夢みなと基金で対応可能。また必要な対策をとる②県立博物館も美術館機能を一部継続し展覧会の機能などは維持。市と意思疎通を図る③（教育長）“待つ”のでなく共に考える姿勢でスタートさせる。

地域防災安全対策取り組み強化推進

濵辺　義孝 議員
選挙区　鳥取市
会　派　公明党

問 鳥取県では、中山間地域振興条例を制定し、中山間地域での防災・減災の住民意識向上の為の重点施策を明記している。

また、出前裏山診断事業により、防災意識の向上が図られている。今後の事業の活用について知事に問う。

答 中山間地域振興条例等を基に、共助の体制等防災力を高めて行く。出前裏山診断で自助、共助の住民意識の向上を図る。

鳥取の持つ人の力というものを活用させていただき、地域の底力を上げて行く。

淀江産業廃棄物最終処分場について

松田　正 議員
選挙区　米子市
会　派　自由民主党

問 多様な意見持つ住民の皆さんの御理解を得る努力を県として続けていかなければならない。拙速に物事を進めるのではなく、極めて慎重に事に当たられるべきであると考えるが。

答 慎重に手続、検証を進めるというのが我々としてあるべき姿ではないか。早計に手続が進むということではなく、むしろきちんと多くの方々が最終的に納得いただける様な結論を考えていかなければならない。私たち県庁としてもしっかりと使命を果たしていきたい。

ロービジョンケア 産業廃棄物問題

浜田　妙子 議員
選挙区　米子市
会　派　会派民主

問 ①ロービジョンケアは進んだが西部に偏った医療の解消を。日本弱視教育研究会と全国高等教育障害学生支援協議会加盟を促し教育現場の情報共有を②次のステージに移る産廃問題への全県的な理解と取り組みを。

答 ①東部も含め全県的な体制が作れればと考える。協議会は鳥短、看護大は加入見込み環境大は関係機関と調整中（教育長）研究会へは職員派遣し今後検討②全県課題と捉え、水の問題等不安な事は一番の中心課題とし専門家を交え慎重丁寧に進める。

①官民連携 ②パラスポーツの振興

野坂　道明 議員
選挙区　米子市
会　派　自由民主党

問 ①西部総合事務所の新棟整備については現在の配置計画を見直し、将来の有効な土地活用ビジョンを描きながら進めるべき②日本一のパラスポーツ拠点を目指し米子市と協議を始めている東山公園の体育館整備に大規模パラアリーナ（※1）も加えるべき。

答 ①柔軟性を持って民間の知見を活かす必要がある。第２期展開も見越しながらの計画は価値があるので関係事業者にも留意点として申し上げたい②大規模パラアリーナの整備について米子市側とも協議をさせていただく。

松葉ガニの資源確保と和牛の振興策

広谷　直樹 議員
選挙区　岩美郡
会　派　自由民主党

問 ①年明け松葉ガニが品薄になり、市場が混乱し各方面に大きな影響を及ぼした。「蟹取県」を標榜する以上松葉ガニの安定供給は必須。松葉ガニの資源減が予測されている。早急に対策を講ずる必要があると思うが②全国的に優秀な県内種雄牛の精液・受精卵流通の管理は。

答 ①漁船毎の漁獲割り当てや自主規制の強化など、観光業や但馬も含め関係者と協議・検討中②精液等の遺伝資源の実効性のある適正流通に向けて、罰則も含む条例を検討中。

中心市街地、台湾便、ローカル５Ｇ

常田　賢二 議員
選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

問 ①県として中心市街地の問題にどう主体的に関わっていくのか②台湾定期便の展望と期待される効果は③ローカル５Ｇ（※2）の県内の現状と今後の可能性は。

答 ①広域団体として地域の商業集積、経済活性化の要である中心市街地問題について役割を果たす②定期便になると旅行会社が商品を組みやすくなる。これから運動展開を順次やっていく中で実現可能性を見出す③電波の特性、採算性を考えながら県でICTを活用したモデル的な事業ができないか考える。

県立美術館の建設と運営への提案

興治　英夫 議員
選挙区　倉吉市
会　派　会派民主

問 ①倉吉市内に、県立美術館建設にかかる広報広聴窓口の設置が必要では②開館後は、倉吉市と前田寛治・菅楯彦両大賞展を共同開催したり、環日本海国際美術展をしてはどうか。

答（教育長）①今は中部の地域振興局が窓口の役割を担っている。PFI事業者の選定作業に、組織体制など検討する②どういう連携ができるか、市と話をする。文化活動を生かした地域づくりを進めるうえで非常に有効な取り組みと思う。知事部局と一緒に議論し、検討したい。

鳥取道４車線化 高齢者の足確保等

銀杏　泰利 議員
選挙区　鳥取市
会　派　公明党

問 ①自信に満ちた４期目船出、議員議論に真摯に対応の結果か②全国やきとリンピック倉吉誘致は③鳥取道４車線化を④安全運転サポート車への支援。免許証返納のインセンティブを。

答 ①銀杏議員の提案で色々な政策が前に進んだ。高校生までの医療費助成、ブラッドパッチ、健康マイレージ事業など。信念をもとにベスト尽くす②応援させていただく③初心忘れず国に働きかける④支援制度は再導入検討。高齢者の足を確保する交通対策の抜本的な改善に乗り出す。

※１ パラアリーナ：パラスポーツ専用体育館
※２ ローカル５Ｇ：第五世帯移動通信システム。超高速かつ大容量の通信を実現する次世代通信技術

県内の重大事故防止・交通安全対策

西村　弥子 議員
選挙区　米子市
会　派　会派民主

問 ①高齢者が第一当事者の重大事故対策は十分か②信号機設置検討は③ラウンドアバウト（※2）検討・道路の安全対策は④対応の遅さとソフト対策のリーダーシップを問う⑤高齢者の踏み間違い防止装置後付け補助を望む。

答 ①現地検討会等関係機関と連携し対策に協力する②（警察本部長）適切に検討・判断し住民に丁寧に説明する③利害得失はあるが検討し、カラー舗装等も進める④交通安全運動ギア上げる（警察本部長）全力で取り組む⑤９月議会で事業内容を検討する。

県民が幸せを実感できる施策方針

山川　智帆 議員
選挙区　米子市
会　派　無所属

問 ①知事公約の目標達成に向けた農業・産業振興策②公共事業の東部中部西部の地域バランス是正③横断的統計分析チームの設置④企業誘致の費用対効果。

答 ①畜産初め農業の挑戦を支援。自動車部品、航空機産業、医療関連等新たな産業テーマに立ち向かう②災害時に活躍する建設関連産業へのエチケット守る③組織改正で令和新時代創造本部に④平成 23 ～ 29 年に企業誘致・県内企業支援合わせて投資約 280 億円、効果約 1,860 億円強。雇用創出は４千人以上。

淀江産廃最終処分場問題について

森　雅幹 議員
選挙区　米子市
会　派　会派民主

問 条例手続の中で、事業者側が答えていない住民側からの多くの疑問点や事業方式の変更などについて、廃掃法（※1）の審査の中で明らかにできるのか？

答 条例手続で決着がつかなかったことは、審査の中に持ち越されている。申請の修正についても、指導で変えさせ得るとの解釈だ。これまで２年半、大変な手間や時間とエネルギーを使っていただいたことは、これからの審議の中で生かされていかれなければならない、という基本姿勢で今後に臨んでまいりたい。

外国人就労者とキャッシュレス化

浜田　一哉 議員
選挙区　境港市
会　派　自由民主党

問 ①就労者を受け入れる監理団体や登録支援機関の申請手続きについては簡略化すべき②県内公共施設のキャッシュレス化が図られる中、公共交通機関のキャッシュレス化は重要であり、山陰線についてもＪＲに要望すべき。

答 ①改善の働きかけや要請など国に対してしていく。円滑に進むよう側面支援をする②ＩＣＯＣＡの活用が広まってきた。改札の自動化やキャッシュレス化、ＩＣＯＣＡの導入についてＪＲのほうに働きかけたい。

新時代の礎づくりに資する関係人口

浜崎　晋一 議員
選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

問 「地域のファンとしての関係人口」と「地域へのインパクトが期待される関係人口」の双方を念頭に置き、的確な取り組みを展開する必要がある。また、関係人口の先駆者として、新たな視点である「ワーケーション」の動きにも先導的な役割を果たしていただきたい。

答 ターゲットとなる関係人口にふさわしい対策を打っていくことを基本とする。また、ワーケーション自治体協議会への加盟を検討する。鳥取からも先導的に発信し、実行していく。

問題意識を持ち財政制度見直し要望

伊藤　保 議員
選挙区　東伯郡
会　派　会派民主

問 10 道県の知事で地方創生実現財政基盤強化知事連盟を結成され、総務大臣に大胆な制度改正を要望されているが、具体的なものが何かあるのか。

答 伊藤議員の代表質問を受け、いろいろと機能不全の財政制度の中、問題意識を持ち動いてきた。地方創生交付金の使い道の柔軟性を求めたり、基準財政収入額の算入率、基準財政需要額の積み上げの見直しを総務大臣に申し入れをしたが、秋の消費税率引き上げ後を勝負どころに具体的な研究をしたい。

※１ 廃掃法：廃棄物の処理及び清掃に関する法律
※２ ラウンドアバウト：環状交差点。３本以上の道路を円形のスペースを介して接続したもの

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部局長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

会派正式名称

【自由民主党】
鳥取県議会自由民主党

【会 派 民 主】
会派民主

【公　明　党】
公明党鳥取県議会議員団

花回廊の総点検を知事の働き方改革

福間　裕隆 議員

選挙区　西伯郡
会　派　会派民主

問 ①鳥取花回廊開園20周年にあたりハード面ソフト面で総点検をすべき②土日祝祭日の行事は出席しない等、平井知事自身が率先して実行し、働き方改革について、企業への範を示すべき。

答 ①花回廊20年の歴史は次の20年へと引き継ぐ努力をする。ハード面整備は県庁内で検討中。やるべきことはやっていく②私自身一気に休むことは難しいが、できることから取り組むことで、業界、民間の皆様に働き方改革を呼びかける。

キャッシュレス高等学校の在り方

坂野経三郎 議員

選挙区　鳥取市
会　派　会派民主

問 ①グーグルサーベイの調査結果は、東京に比べ鳥取のキャッシュレスの遅れを示した。消費増税時キャッシュレス支払いに対する2798億円分のポイント還元策は、高齢者の多い地方に冷たい政策だと国へ訴えるべき②公立学校、私立学校それぞれの魅力化の取組みを共有し、よりよい教育を提供すべきだ。

答 ①大きく政策的に間違っているとまでは言えないと思う②（教育長）県の教育大会の中で、公立高校だけでなく私立高校の発表も含めて全県で共有する。

特別委員会の紹介

６月定例会において「決算審査特別委員会」が設置され、審査及び調査を効率よく行うため、６分科会が設置されました。

【決算審査特別委員会】（定数32人）　（◎：委員長　○：副委員長）

◎森　雅幹（米子市・会派民主）	○松田　正（米子市・自由民主党）	（正副議長、監査委員を除く全議員）		

（○：主査）

総務教育分科会

○藤井　一博（東伯郡・自由民主党）		森　雅幹（米子市・会派民主）	
内田　隆嗣（米子市・自由民主党）		西川　憲雄（八頭郡・自由民主党）	
銀杏　泰利（鳥取市・公明党）			

福祉生活分科会

○川部　洋（倉吉市・自由民主党）		由田　隆（倉吉市・無所属）	
山口　雅志（鳥取市・自由民主党）		安田　由毅（境港市・自由民主党）	
福間　裕隆（西伯郡・会派民主）		澤　紀男（米子市・公明党）	

農林水産商工分科会

○濵辺　義孝（鳥取市・公明党）		市谷　知子（鳥取市・無所属）	
松田　正（米子市・自由民主党）		興治　英夫（倉吉市・会派民主）	
斉木　正一（米子市・自由民主党）		野坂　道明（米子市・自由民主党）	

地域振興県土警察分科会 ※

○島谷　龍司（鳥取市・自由民主党）		坂野経三郎（鳥取市・会派民主）	
福浜　隆宏（鳥取市・無所属）		鹿島　功（西伯郡・自由民主党）	
常田　賢二（鳥取市・自由民主党）			

※ 7月19日付で地域づくり県土警察分科会に改称

県営企業分科会

○尾崎　薫（鳥取市・会派民主）		語堂　正範（東伯郡・自由民主党）	
浜田　妙子（米子市・会派民主）		中島　規夫（鳥取市・自由民主党）	
内田　博長（日野郡・自由民主党）			

病院事業分科会

○浜田　一哉（境港市・自由民主党）		西村　弥子（米子市・会派民主）	
山川　智帆（米子市・無所属）		伊藤　保（東伯郡・会派民主）	
浜崎　晋一（鳥取市・自由民主党）			

常任委員会活動

鳥取県議会には４つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続審査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会

６月定例会では、本委員会所管の令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第１号）等の４議案について慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり全員一致で可決すべきものと決定した。

また、新規の陳情５件について慎重に審査を行い、女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書提出を求める陳情、本年10月に予定される消費税10％への引き上げ中止を求める意見書提出を求める陳情、公契約条例の制定に向けた検討を求める陳情、教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度２分の１復元をはかるための2020年度政府予算に係る意見書採択を求める陳情は、いずれも「不採択」、小中学校通学路等の危険箇所の再点検を行うなどの所要の対策を求める陳情は、「趣旨採択」と決定された。

福祉生活病院常任委員会

６月定例会では、新たな体制で、本委員会所管の令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第１号）、鳥取県環境影響評価条例の一部を改正する条例など４件の議案について、慎重に審議を行った結果、いずれの議案も妥当なものと認め、原案どおり可決すべきものと決定した。

主な議案としては、「令和新時代チャレンジ55」を推進するための施策として、児童相談所体制強化事業、「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業といった社会的な諸問題の解決に向けて取り組む内容のものがあった。

また、ハンセン病元患者家族に対する救済を求める意見書の提出を求めるものなど新たに提出された陳情４件について、慎重に審議を行った結果、いずれも「趣旨採択」と決定した。

農林水産商工常任委員会

６月定例会では、令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第１号）、鳥取県農作物種子条例など６件の議案について、慎重に審議を行い、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

また、新規の陳情が２件あり、『協同労働の協同組合法（仮称）』の速やかな制定を求める意見書の提出」については、平成31年２月、与党政策責任者会議で了承された「労働者協同組合法案（仮称）骨子」が「協同組合振興研究議員連盟」役員会で確定した。労働者協同組合、ＮＰＯなどで働く労働者の働き方にふさわしい法律として法制化を求める陳情の必要があることから「採択」と決定し、意見書を発議するよう全員一致で決定した。また、最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出については、「不採択」と決定した。

地域振興県土警察常任委員会（※）

６月定例会では、令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第１号）など３議案について慎重に審議を行い、その結果、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

併せて、新規の陳情１件について慎重に審査を行った。その結果、「核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書の提出について」は、本県議会において昭和62年に「核兵器廃絶平和鳥取県宣言」を採択するなど、これまでも反核の意思を内外に示し、政府や国会に取り組みを要望してきたものであるところ、条約締結など外交・防衛は国の専権事項であり、国の責任において国民的関心を喚起しながら十分に議論を重ねていくべきものと考えられることから、「趣旨採択」と決定した。

※７月５日付で地域づくり県土警察常任委員会に改称

自由民主党													会派民主								公明党			無所属				賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果
浜田一哉	中島規夫	内田隆嗣	内田博長	斉木正一	浜崎晋一	西川憲雄	広谷直樹	野坂道明	島谷龍司	川部洋	福田俊史	藤縄喜和	西村弥子	坂野経三郎	森雅幹	尾崎薫	浜田妙子	興治英夫	伊藤保	福間裕隆	濵辺義孝	澤紀男	銀杏泰利	福浜隆宏	市谷知子	山川智帆	由田隆				
議案に対する賛否																															
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
委員長報告に対する賛否																															
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	24	10	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	31	3	34	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	24	10	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	31	3	34	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	23	11	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	23	11	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	24	10	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	34	0	34	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	趣旨採択

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
…請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件　　名	議決結果
⑫	鳥取県環境影響評価条例の一部を改正する条例	可決
⑬	鳥取県監査委員の選任について	同意
⑭	鳥取県人事委員会委員の選任について	同意
⑮	鳥取県公安委員会委員の任命について	同意
⑯	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意
⑰	鳥取県収用委員会予備委員の任命について	同意
❸	「協同労働の協同組合」に関する法律の速やかな制定を求める意見書	可決
陳情元年－４	「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書の提出について	採択

令和元年６月定例会付議案等議決結果（賛否が分かれた議案及び否決された議案）

			自由民主党						
			松田正	藤井一博	鹿島功	山口雅志	安田由毅	常田賢二	語堂正範
議案等番号	件　　名								
③	鳥取県立美術館の設置等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○
⑥	鳥取県手数料徴収条例及び鳥取県警察手数料条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○
❶	鳥取県議会委員会条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○
❷	地方財政の充実・強化を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件　　名	委員長報告							
陳情元年－１	本年10月に予定される消費税10％への引き上げ中止を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情元年－２	ハンセン病元患者家族に対する救済を求める意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情元年－３	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度２分の１復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情元年－５	精神障がい者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情元年－６	女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情元年－７	核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情元年－８	公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情元年－９	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情元年－10	薬物乱用の防止に向けた意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情元年－11	消費生活センターにおける「斡旋」の方法について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情元年－12	小中学校通学路等における安全確保の推進と、危険箇所の再点検について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長。

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

令和元年６月定例会付議案等議決結果（全会一致で議決された議案）

議案等番号	件　　名	議決結果
①	令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第１号）	可決
②	令和元年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第１号）	可決
④	鳥取県税条例の一部を改正する条例	可決
⑤	鳥取県砂利採取条例の一部を改正する条例	可決
⑦	工事請負契約（鳥取県漁業取締船「はやぶさ」代船建造工事）の締結について	可決
⑧	県営土地改良事業等の施行に伴う市町村負担金についての議決の一部変更について	可決
⑨	鳥取県産業成長応援条例	可決
⑩	鳥取県農作物種子条例	可決
⑪	鳥取県行政組織条例及び鳥取県総合事務所等設置条例の一部を改正する条例	可決

中国五県議会正副議長会議

５月22日、鳥取市で中国五県議会正副議長会議が開催され、中国５県が共有する重要課題として、九つの要望を国へ行うことで合意した。本県からは、地方交付税の財源調整機能を発揮し各自治体の一般財源を確保するよう求める「地方税財政の充実・強化」、鳥取道・米子道の４車線化や山陰近畿道を含む高速道路網の早期整備、参議院選挙の合区の速やかな解消、防災・復興対策を一元的に担う中央省庁創設の４件を提案し、全て要望事項に採用された。

要望書は、６月３日、関係省庁・県選出国会議員へ提出され、今後の国の施策への反映が期待される。

令和元年度学生議会のご案内

学生議会を下記のとおり開催します。

今年度は、県内の大学生と高専の学生の皆さんに参加いただき、本会議場にて知事らに論戦を挑みます。学生の皆さんの活躍をぜひ傍聴席でご覧ください。

- **日　時**　10月16日（水）　午後１時から
- **場　所**　鳥取県議会本会議場
- **参加学生の皆さん**
  鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取看護大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校の学生10名

9月定例会の日程案

期　日	日　程
9月　12日（木）	本会議（開会・提案理由説明）
13日（金）	常任委員会
17日（火）	本会議（代表質問）
19日（木）	
24日（火）	本会議（一般質問・質疑）
25日（水）	
27日（金）	
30日（月）	
10月　2日（水）	
3日（木）	
7日（月）	常任委員会
8日（火）	特別委員会
9日（水）	本会議（採決・閉会）

※ 日程は変更の可能性があります。

県議会を傍聴しませんか

県議会の審議は公開されており、どなたでも本会議、委員会などの会議を傍聴できます。

暮らしに直結する審議が、どのように進められているのか、直接見てみませんか。議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

スマートフォンからもご覧いただけます

本会議、常任委員会、全員協議会の生中継と録画中継のインターネット放送は、スマートフォンからもご覧いただけるようになりました。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

県議会ホームページは
こちらから➡

あ と が き

この度の改選により、議会だよりを編集する広報委員会も新たなメンバーとなりました。

議会活動を多くの県民の皆様にお知らせするため、今後も「読みやすく、わかりやすい」議会だよりを目指してまいります。

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。

（広報委員会委員長）

発行日／令和元年9月1日
編集・発行／鳥取県議会　〒680-8570 鳥取市東町1丁目220
☎0857-26-7460　FAX0857-26-7461　e-mail : gikaisoumu@pref.tottori.lg.jp